

2015年4月28日  
東日本旅客鉄道株式会社

## 2015年度設備投資計画について

このたび、2015年度の設備投資計画を策定しましたので、お知らせいたします。  
2012年10月に発表した「グループ経営構想 ～限りなき前進～」に基づき、災害に強い鉄道を目指して大規模地震対策と沿岸被災線区の復旧に重点的に取り組むとともに、従来から取り組んできた安全性の向上やお客さま満足の向上、将来の成長のための設備投資を着実に進めてまいります。

設備投資額(単体)は、2014年度実績比330億円増の4,550億円を計画しています。

### 主な設備投資の内容

首都直下等の地震に備え、高架橋柱、橋脚、盛土、切取、レンガアーチ高架橋、電化柱の耐震補強や駅舎・ホームの天井・壁落下防止対策等を重点的に進めます。

鉄道復旧を決定した区間の工事を進め、仙石線高城町～陸前小野間については5月30日の運転再開を予定しています。その他の太平洋沿岸線区の復旧については、地域全体の復興や「まちづくり」と一体となって、国・地方自治体と協議しながら着実に進めます。

中央線特急車両向けE353系の量産先行車両を投入します。また、E233系新型車両の南武線への投入や、地方向けE129系新型車両の新潟地区への投入を進めます。

踏切事故防止対策や、豪雨等に対する自然災害対策などの安全対策を着実に推進します。また、駅ホームの安全性を高めるために、山手線の上野駅、秋葉原駅など5駅においてホームドアを使用開始するほか、内方線付ホーム縁端ブロックの整備を引き続き実施します。

鉄道輸送の安定性のさらなる向上をめざし、老朽設備の更新を着実に進めるほか、新幹線および首都圏における雪害対策設備の整備を重点的に実施します。

列車に乗ること自体が旅行の目的となるような、「のってたのしい列車」づくりを進めます。2015年度については、2016年度春以降の運行開始をめざし、旅するアートカフェ新幹線「GENBI SHINKANSEN / 現美新幹線」投入に向けた車両改造を実施します。

2016年春に開業予定の新宿駅新南口ビル(仮称)及び仙台駅自由通路・東口開発や、横浜、千葉、品川、渋谷等の「大規模ターミナル駅開発」を着実に進めます。

中央線三鷹～立川間の高架下空間を活用した「中央ラインモール」の開発を引続き推進するほか、茅ヶ崎駅改良・駅ビル増床、浦和駅高架下開発等のショッピングセンター整備や駅型保育園等の子育て支援施設の展開を推進し、「選ばれる沿線ブランドづくり」をめざします。

お客さまへの付加価値の高い情報配信を目指し、スマートフォン向けアプリ「JR東日本アプリ」のコンテンツ拡充や、異常時案内用ディスプレイの整備を拡大します。

電力の安定供給確保に向け、川崎火力発電所等の設備更新を進めるほか、再生可能エネルギー設備の新設や電力貯蔵装置の整備を進めます。

#### 設備投資額(単体)

	2015年度計画	2014年度実績	2013年度実績	2012年度実績
交通サービス部門	3,660	3,750	3,723	3,581
生活サービス部門	890	471	385	463
合計	4,550	4,221	4,108	4,044
リース投資	190	156	153	94

# 2015年度 設備投資計画概要(主な件名)

## 変わらぬ使命

### 「究極の安全」に向けて ~災害に強い鉄道づくり~

- ・大規模地震対策  
 高架橋、橋脚、盛土、レンガアーチ高架橋、駅舎等の耐震補強  
 電車線支持物耐震補強  
 新幹線AT保護線張替

- ・ホームドア整備
- ・内方線付ホーム縁端ブロック整備
- ・ATS等整備
- ・踏切事故対策
- ・山形・秋田新幹線降雨防災対策



盛土耐震補強



ホームドア



高架橋耐震補強



橋脚耐震補強



踏切支障報知装置

### サービス品質の改革 ~鉄道ネットワークの拡充等~

- ・中央線特急車両E353系量産先行車両投入
- ・新潟地区用E129系車両投入
- ・南武線用E233系車両投入
- ・分岐器不転換対策
- ・ATOS整備拡大・更新
- ・エレベーター設備整備
- ・駅トイレ整備
- ・ベビー休憩室整備
- ・異常時案内用ディスプレイ整備



E353系量産先行車(イメージ)



新潟地区用E129系車両



南武線用E233系車両



駅トイレ



ベビー休憩室



分岐器不転換対策

**地域との連携強化 ~ 震災からの復興、観光流動の創造と地域の活性化 ~**

- ・仙石線復旧・仙石東北ライン開業
- ・沿岸被災線区復旧
- ・橋上駅舎・自由通路整備
- ・「GENBI SHINKANSEN (現美新幹線)」投入に向けた車両改造
- ・子育て支援施設整備
- ・大規模ターミナル駅開発  
新宿、仙台、横浜、千葉、品川、渋谷 ほか
- ・茅ヶ崎駅改良・駅ビル増床
- ・浦和駅高架下開発
- ・中央ラインモール(武蔵小金井西、国立駅東)



新宿駅新南口ビル(仮称)



仙台駅自由通路・東口開発



中央ラインモール



浦和駅高架下開発



仙石東北ライン(左:仙石線、右:東北本線)とハイブリッド車両(HB-E210系) 常磐線ルート変更



**無限の可能性の追求**

**技術革新 ~ エネルギー・環境戦略の構築、ICTの活用、高速化 ~**

- ・再生可能エネルギー設備新設
- ・LED照明化
- ・電力貯蔵装置新設
- ・駅構内共通ネットワーク整備
- ・CBTC導入・ATACS導入
- ・「JR東日本アプリ」コンテンツ拡充

**新たな事業領域への挑戦 ~ グローバル化 ~**

- ・鉄道車両製造事業の拡大

**人を伸ばし、人を活かす企業風土づくり**

- ・女性社員設備整備
- ・現場第一線における技術開発
- ・研修・訓練センター設備整備



電力貯蔵装置



風力発電設備



JR東日本アプリ